

文化庁2023（令和5）年度 現職日本語教師研修プログラム普及事業

# 難民等に対する日本語教師【初任】研修

アフガニスタン、ウクライナ、ミャンマー等から日本に逃れ、地域への定住をスタートさせている難民的背景をもつ方々が急増しています。この状況下、「日本語教育」の専門性をもって何かしらお役に立てないかとお考えの方も大勢いらっしゃると思います。さぼうと21は、難民の自立支援団体の知見を活かして、「難民的背景をもつ日本語学習者を多視点から理解し、対人援助としての日本語教育の姿勢をもち、有用な日本語教育を行うことのできる日本語教師人材を育成する」ことを目的として、本研修の実施を決めました。ご関心のある方は、ぜひお申し込みください。

- **対 象** 難民等への日本語教育を学びたい日本語教師、全講座参加可能な方優先
- **日 時** 日曜日 9:30 から12:40 ※詳しくは、裏面をご覧ください。
- **実施期間** 第2期 2023年10月22日（日）から2024年2月4日（日）  
全60単位相当（45分×60コマ）の講座です。  
研修は原則、日曜日に行われますが、内容等により他の曜日に実施の場合もあります。
- **実施方法** オンライン（「演習特2 難民当事者との対話」のみ原則対面）
- **申込方法** 以下のURLまたはQRコードよりお申込み下さい。先着順にて受付を終了します。（定員 50名 ※年度内2回の研修で70名の方にご受講いただければと思っています。）  
<https://forms.gle/52V2SSxAGNdF4d9R7>
- **受講料** 15,000円  
お支払方法はお申込みいただいた方にお知らせいたします。
- **申込〆切** 2023年10月15日（日）（先着順にて受付）



社会福祉法人さぼうと21は、1979年に「インドシナ難民を助ける会」として事業を開始して以来、一貫して、難民等、何かしらの特別な事情により日本に留まることとなった方々への日本語教育に携わってきました。彼らの日本での暮らしは「就労先」「学校」「自治体等の地域コミュニティ」などにより支えられますが、そうした日々の暮らしを支えるため、また、彼らがより自分らしく生きていくため、日本語の習得は欠かせないことでもっとも大切な要素です。長年、現場で難民等の日本定住の支援に関わってきた者たちが集まり、「難民等への日本語教育の力とはなんぞや？」を考え、議論を重ねながら、日本語教師（初任）対象の研修をデザインしました。

## 主催 社会福祉法人 さぼうと21

〒141-0021 東京都品川区上大崎 2-12-2 ミズホビル 6階

TEL: 03-5449-1331 FAX: 03-5449-1332 E-mail: [kensyu@support21.or.jp](mailto:kensyu@support21.or.jp)[社会福祉法人さぼうと21 \(support21.or.jp\)](http://support21.or.jp)

# 講義内容と日程

日程	回数	午前① 9:30-11:00 (2コマ)	午前② 11:10-12:40 (2コマ)
10/22 (日)	1	【講義Aゼロ】「難民等」概論 武蔵大学社会学部 准教授 人見泰弘	【講義Cゼロ】「難民等に対する日本語教育」概論 ※研修についての説明 ※見学についての説明 (社福) さぼと 2 1 矢崎理恵
10/29 (日)	2	【講義A 2】 日本の難民等受入れの経緯と基本的な受入れ方針・体制等 (公財) アジア福祉教育財団 難民事業本部 鈴木功	【講義C 3】 中国帰国者に対する日本語教育 首都圏中国帰国者支援・交流センター 小川珠子
11/5 (日)	3	【講義A 1】 世界における難民等の現状 国連難民高等弁務官事務所 (UNHCR) 駐日事務所 葛西伶	【講義C 1】 難民等に対する日本語教育 (公的な支援を中心に) (公社)国際日本語普及協会 (AJALT) 小瀧雅子
11/12 (日)	4	【講義A 3】 日本における難民等の現状 FRJ なんみんフォーラム 檜山怜美	【講義C 2】 難民等に対する日本語教育 (公的な支援以外を中心に) (社福) さぼと 2 1 矢崎理恵
11/19 (日)	5	【演習ゼロ】 難民等に対する日本語教育に必要な知識・技能・態度を身に着けていくには 公益財団法人名古屋YWCA 和田貴子	【演習 1】 積極的傾聴 公益財団法人名古屋YWCA 和田貴子
11/26 (日)	6	【講義B 1】 日本における難民等の多様性① 認定NPO法人 難民支援協会 (JAR) 鶴木由美子	【講義B 5】 難民等への理解を深める 一臨床心理学の視点からの理解一 大正大学社会共生学部公共政策学科 教授 鶴川晃
12/3 (日)	7	【講義B 2】 日本における難民等の多様性② (社福) さぼと 2 1 研修コーディネーター 田中美穂子	【演習 2】 異文化調整能力・課題の共有・評価とフィードバック 公益財団法人名古屋YWCA 和田貴子
12/10 (日)	8	【講義B 3】 難民等の異文化受容・適応(ケースメソッド) 社会構想大学院大学実務教育研究科 准教授 伴野崇生	【講義B 4】 難民等への理解を深める 一言語学習者としての側面から一 国立国語研究所 日本語教育研究領域 野山広
12/17 (日)	9	【講義D 1】 難民等の社会参加 (社福) 日本国際社会事業団 常務理事 石川美絵子	
12/24 (日)	10	【演習特 1】 さぼと 2 1 学習支援教室他日本語教育の実践の現場を見学 (振り返り) 大室文、栗又由利子、和田貴子	
1/7 (日)	11	【演習特 2 ①】 難民当事者との対話<本番> ※対面 大室文、栗又由利子、和田貴子	できる限り、対面での参加をお願いしたく存じますが、ご事情によりどうしても対面参加が難しい方のために、1/8 (月) 19時半~21時にオンラインでの実施を予定しております。
1/14 (日)	12	【演習 3】 難民等に対する日本語教育や難民支援実践者の「わざ」を記述する 公益財団法人名古屋YWCA 和田貴子	
1/21 (日)	13	【講義D 2】 難民等のライフステージに合わせたキャリアプランと日本語教育 社会構想大学院大学実務教育研究科 准教授 伴野崇生	
1/28 (日)	14	【演習特 2 ②】 難民当事者との対話<振り返り> 大室文、栗又由利子、和田貴子	
2/4 (日)	15	【演習 4】 私にとって「難民等に対する日本語教育とは」/ 教師として学び、成長し続けるために 公益財団法人名古屋YWCA 和田貴子	実習は期間内に、全450分 (10単位相当) のオンラインでの個別指導となります。日程は個別に調整させていただきます。実習アドバイザーが伴走します。
11月~12月上旬		【見学】 難民等への日本語教育を行う機関を訪問、見学	
11月~3月		【実習】 オンラインでの日本語教育の実践 田中美穂子、大室文、栗又由利子、和田貴子	